

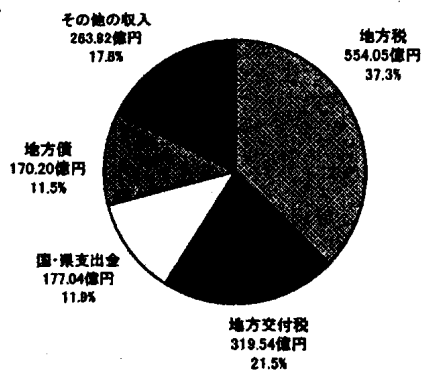
# これで合併か?! 「数字を合わせた」 新市の財政計画は

..... 住民説明会での答弁

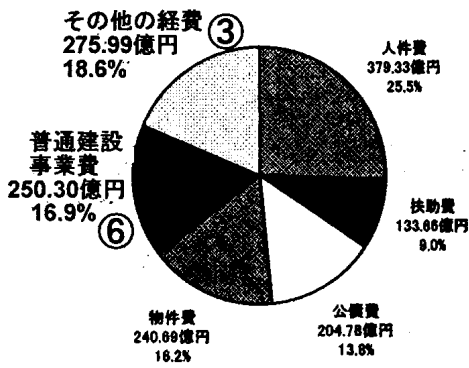
## 新市の財政計画

(両町が合併しない場合の合計額との差額 187.69億円)

10年間の歳入合計  
1484.75億円

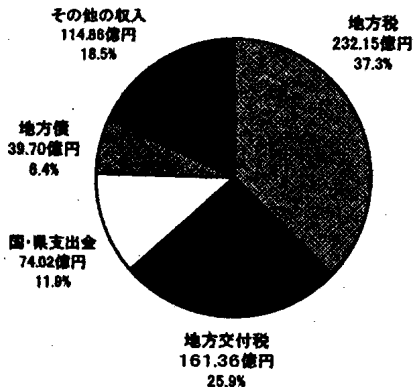


10年間の歳出合計  
1484.75億円

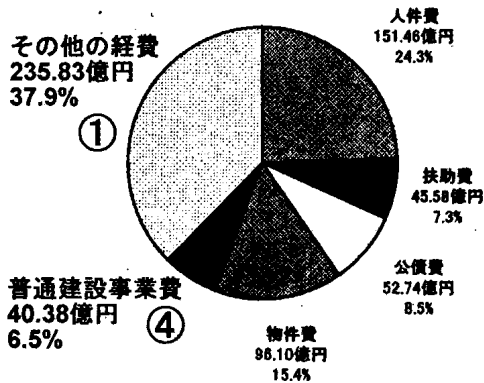


## 南知多町の財政計画 合併しない場合の推計

10年間の歳入合計  
622.09億円

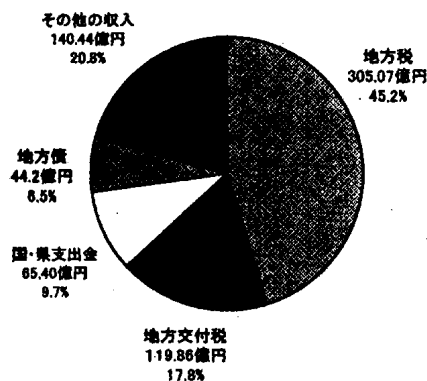


10年間の歳出合計  
622.09億円

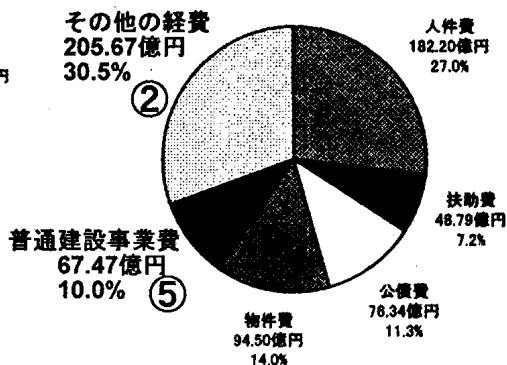


## 美浜町の財政計画 合併しない場合の推計

10年間の歳入合計  
674.97億円



10年間の歳出合計  
674.97億円



左図は、住民説明会で配布された資料です。合併しない場合の両町の推計の合計と、合併した場合の新市の財政計画を見る上で、注目すべきは「その他の経費」です。「その他の経費」とは、保育所・学校の運営費・ゴミの収集処理費、各種補助金など市民の生活に直接かかわる経費です。

両町単独でいく場合、「その他の経費」の合計(①+②)は、441億5千万円ですが、新市ではこれが275億9900万円(③)で、165億5100万円も大きく減っています。

一方、普通建設事業は、両町単独の場合の合計(④+⑤)は、107

億8500万円ですが、新市は250億3000万円(⑥)で、142億4500万円と大きく増えています。

師崎地区の説明会では、「住民サービスに必要な経費を削って、普通建設事業にまわしているのではないかと」との日本共産党の渡辺町議の質問に対して、当局は「数字を合わせた」と答弁しました。

町長は「正しい数字で、正しい判断をしていただきたい」と説明会のあいさつで述べていましたが、いったいこの『数字合わせ』という苦しい弁解を言わなくてはならないような資料で、住民が判断できるので